

【事業背景】

- ・ 県内において医師が都市部に集中するなど、医師が偏在している中で、地域で不足している医療機能及び将来不足が予想される医療機能を充実させる必要がある。
- ・ 特に診療所の医師の高齢化が進行しており、県外の承継希望医と後継者不在の開業医のマッチング等を図り、地域医療及び在宅医療提供体制の確保が必要である。



【事業概要】

- ・ 地域で不足している医療確保のため、地域医療介護総合確保基金を活用し、承継に係る費用を支援する。

【実施主体】

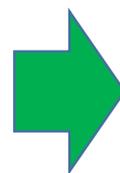
- ・ 診療所

事業イメージ

- ・ 地域で不足している医療提供体制を確保するための、

診療所の承継に係る費用

を補助



事業効果

- ・ 承継希望医と後継者不在の開業医のマッチング
- ・ 地域医療提供体制の充実

# (新)在宅医療拠点整備事業の概要【事業費：680,000千円】

## 【事業背景】

- ・奥会津地方は県内で最も高齢化が進展しており、医療需要が高い。（県内の高齢化率トップ3の町村が存在する地域）
- ・医療機関や医師等の医療資源が乏しい地域であり、今後増加が見込まれる在宅医療のニーズに対して、適切なサービスを提供できるよう体制整備を強化する必要がある。



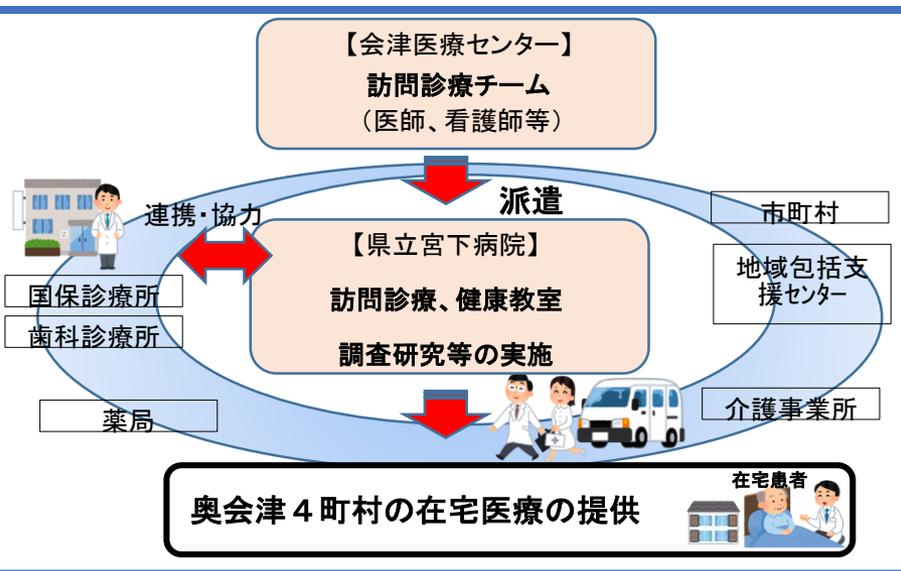
## 【事業概要】

- ・在宅医療を行う医師を県外から確保し、訪問診療チームによる訪問診療や健康教室の実施、在宅医療に関する調査研究等を行うための経費を支援する。（モデル事業として実施）

## 【実施主体】

- ・会津医療センター、県立宮下病院（関係町村、国保診療所等とも連携・協力しながら実施）

## 事業イメージ



## 事業効果

- ・医療資源が不足する地域において、在宅医療を担う人材の確保・育成が図られる。
  - ・住民が住み慣れた地域や自宅で最期まで療養することができるようになる。
- 地域包括ケアシステムの推進、訪問診療等の増加につながる

# (新)即戦力となる医療従事者招へい事業の概要【事業費：6,500千円】

## 【事業背景】

- ・ 医師及び看護職員（以下、「医療従事者」）の不足解消を図るため、医師確保計画等に基づく医療従事者の招へい取組を強化することにより、既存事業との相乗効果による安定的な確保を目指す。



## 【事業概要】

- ・ 即戦力となる医療従事者の確保に取り組む市町村及び専門医研修基幹施設等に対し、採用活動等に要する経費を支援。

## 【実施主体】

- ・ 市町村、専門医研修基幹病院及び連携施設

## 事業イメージ

福島県

補助

医療従事者招へい事業

市町村  
専門医研修基幹施設等

(市町村)  
へき地診療所に勤務する看護職員の採用活動等に要する経費を支援

(専門医研修基幹施設等)  
県外で開催されるガイダンス等への出展経費を支援



## 事業効果

- ・ 即戦力となる医師、看護職員の確保
- ・ 県内の医療従事者の不足解消
- ・ 県民への医療提供体制の充実・強化